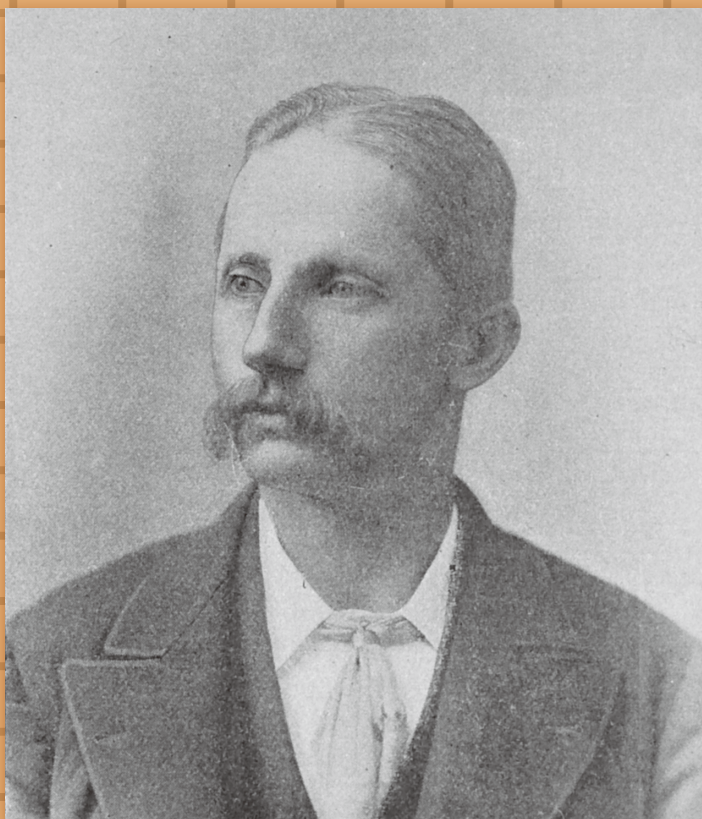
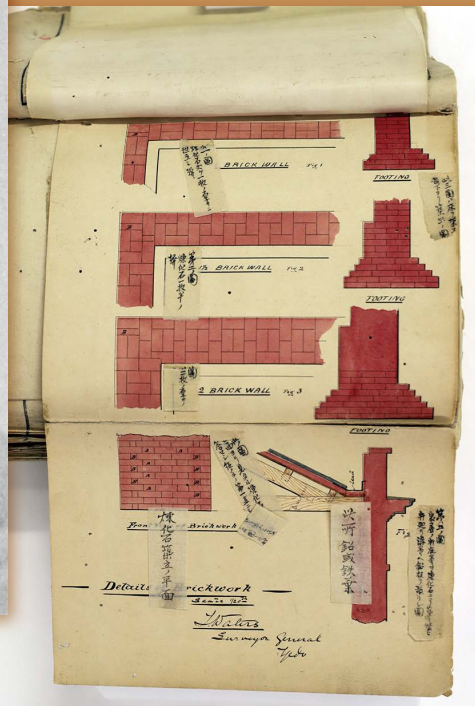




トーマス・ウォートルス (1842-1898)



トーマスが作成した銀座煉瓦街の矩計図 (東京都公文書館所蔵)

トーマス・ウォートルス 幕末・明治のお雇い外国人と国際社会

水田 丞／著

定価 27,500 円
(本体 25,000 円 + 税 10%)

幕末から明治にかけて建築技術者として来日し、大阪の造幣寮や銀座煉瓦街を手がけたトーマス・ウォートルス (1842-1898) の生涯をたどることにより、近代日本の黎明期を 19 世紀の国際的な環境のなかで理解する。

今も重要文化財としてその一部が遺る大阪造幣局だけでなく、生地アイルランドから晩年を過ごしたアメリカまでその足跡を追い、帝国主義が勃興する 19 世紀の国際社会の様相を一技術者の人生から浮かび上がらせる。

●ISBN 978-4-8055-1179-4 C3052 ●B5 判上製函入 ●本文 232 頁 ●2026 年 9 月刊

目 次

はじめに

1 来日まで

パーソンズタウン／アルバート・ロビンソン／一九世紀の東アジアにおける
建築技術者たち

2 幕末の九州

奄美大島／薩摩藩／長崎

3 造幣寮

造幣寮／アーネスト・ウォートルス／産業施設のプロジェクト・マネージャー
として

4 帝都を飾る

分析所と竹橋陣営、銀座煉瓦街／宮殿計画案／紙幣寮製造場／トーマス・
ウォートルスの建築デザインの特徴

5 上海からニュージーランド、米国コロラド州へ

上海での活動／ニュージーランド／コロラド州の鉱山開発

おわりに

著者略歴

水田 丞（みずた・すすむ）

1978年佐賀県生まれ。2001年鹿児島大学工学部建築学科卒業。
2006年九州大学大学院人間環境学府博士後期課程修了・博士(工
学)。日本学術振興会特別研究員 PD(京都工芸繊維大学)、ロ
ンドン大学 SOAS 客員研究員、リヴァプール大学客員研究員を
経て、現在は広島大学大学院先進理工系科学研究科准教授。
著書に『幕末明治初期の洋式産業施設とグラバー商会—19世紀
の国際社会における技術移転とイギリス商人をめぐる建築史的
考察—』(九州大学出版会・2017年)がある。

関連書籍

明治期建築学史

角田真弓／著

定価 13,200 円
(本体 12,000 円 + 税 10%)

現在の「建築学」はいかに形成されたのか。

明治期の西洋建築の移入と西洋技術・情報の受容過程を、一次資料の
丹念な分析から跡付ける。近代工学教育における建築教育の特性、建築
学の学問的領域の確立、建築とその関連領域(「工芸」「図学」「図案」)
との境界を明らかにする労作。【第24回(2020年)建築史学会賞受賞】

●ISBN 978-4-8055-0869-5 ●A5 判上製函入 ●本文 492 頁・カラー口絵 8 頁



銀座煉瓦街(横浜開港資料館所蔵)



重要文化財 造幣寮応接所(泉布観)

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1
IVY ビル

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

Mail: chukobi@chukobi.co.jp

お取り扱い